

第 1 章

残業代請求バブルを めぐる背景

第1節	ポスト「過払い金返還請求」は、「未払い残業代請求」……	3
第2節	是正勧告と、「未払い残業代請求」……	9
第3節	会社の意識改革は急務……	13



第

1

章

残業代請求バブルを めぐる背景

第1節 ポスト「過払い金返還請求」は、「未払い残業代請求」

1 未払い残業代に5千万円請求された…そのとき会社は…

平成22年5月5日、元横綱が経営していたちゃんこ料理店が、「4億5千万円の負債を抱え倒産」と、報道されました。

この倒産には様々な要因があったものの、その一つとして、退職労働者による未払い残業代請求があったことは否めません。まず、平成21年9月17日、京都地裁は会社に対し、約3,400万円の未払い残業代請求をした京都店舗の元従業員6人に、付加金を含め残業代など合計約2,600万円の支払いを命じました。

また、同年11月19日には、札幌の店舗に従事していた元従業員5人が、約1,550万円の支払いを求める労働審判を札幌地裁に申し立てました。

京都のケースでいえば、2,600万円の支払い命令が出されたわけですから、平均して一人当たり400万円以上の支払いということになります。おそらく、その結果を見て、同様な条件に従事していた札幌の元従業員が労働審判の申立てをしたものと思われます。京都と札幌で、合計約5,000万円の未払い残業代が請求されたことになります。

京都の判決で裁判長は、同社について「原告の実労働時間を少なく

算定するなど、支払うべき賃金を不当に少なくしようとする姿勢が顕著」と認定していますので、仮にその金額は本来支払わなければならなかった賃金だったとしても、この倒産で私たちは、「労働者は集団で残業代を請求する」という心理を、教訓として学んだのではないのでしょうか。

これが、タイムカードの打刻時刻から算定された未払い残業代で、本当に労働していない時間にまで支払いを強要されたら…。しかも、時効にかかるまでの2年間をさかのぼって請求されたら…。

まったく生産性のない賃金の支払いに、倒産の憂き目を見る会社も少なからずあるでしょう。

2 弁護士の広告にあおられて…

貴方の会社は、「ちゃんこ料理店は特別だよ！うちの会社に限って、社員は優良だし、残業代請求で会社がつぶれっこない！」と傍観してられるでしょうか？

残念ながら残業代請求の問題は、交通事故と一緒に、どの会社に起こってもおかしくないと認識していただきたいと思います。なぜなら、もうすでに「残業代請求バブル」のシナリオは、出来上がっているからです。

少しでも多く、会社から賃金をせしめたい退職労働者に、過払い金返還請求で味を占め、私腹を肥やした弁護士らが、彼らに請求をけしかけています。

「1日8時間を超えて働いていれば、2年間さかのぼって残業代を請求する権利がある！」

「簡単に300万円の未払い残業代がもらえる！」

「早く請求しないと、時効でもらえなくなる！」